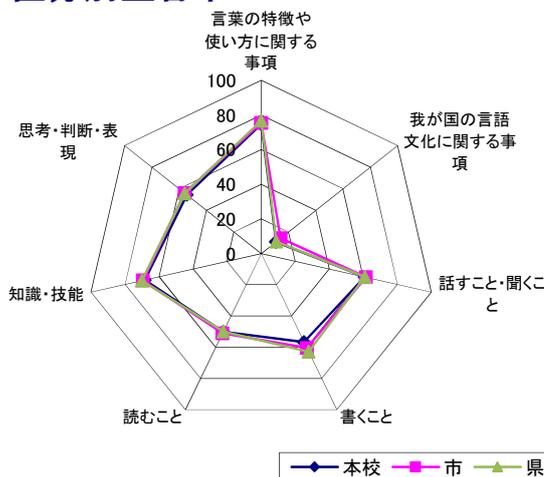


宇都宮市立雀宮中学校 第2学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	74.8	75.5	76.7
	我が国の言語文化に関する事項	10.9	14.3	11.2
	話すこと・聞くこと	60.9	61.6	60.9
	書くこと	56.7	60.4	62.9
	読むこと	50.1	51.0	49.9
観点	知識・技能	68.4	69.4	70.1
	思考・判断・表現	54.5	56.0	55.9



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	平均正答率は市の平均を0.7p、県の平均を1.9p下回っている。 ○ 話の内容を記録しながら聞くことは、おおむねできている。 ● 話の内容を相談しながらまとめることを苦手としている生徒が多い。	・授業の振り返りの中で、話し合いやまとめ作業を増やしていく。
我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は市の平均を3.4p、県の平均を0.3p下回っている。 ○ 中1での学習漢字に関してはおおむねできている。 ● 小学校での学習漢字に関して、苦手になっている生徒が多い。	・現在学習している漢字だけでなく、定期的に小学校を含めた学習の振り返りを行っていく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は市の平均を0.7p下回り、県平均とは同じだった。 ○ 話題や情報を考えながら話し合うことは、できている生徒が多い。 ● 自分の考えをまとめ、効果的に話すことを苦手としている生徒が多い。	・感想を述べ合うなど、授業の中で話す機会を増やしていく。
書くこと	平均正答率は市の平均を3.3p、県平均は6.2p下回った。 ● 各出題において、全般的に苦手な意識を持っている生徒が多い。	・書く機会を増やす中で、自分の考えを簡潔に表すことができるよう指導していく。
読むこと	平均正答率は市の平均を0.9p下回り、県平均は0.2p上回った。 ○ 必要な情報に着目し、内容をとらえることができている生徒が多い。 ● 文章の内容を叙述に基づいて捉えることを苦手としている生徒が多い。	・「なぜその意見になるのか」を考えながら、論理的に文章を理解できるように指導していく。